

中国秋季リーグ戦男子1部 Second stage 結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

10/15、16 に山口県萩市民体育館において、男女1部 Second stage が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

vs 福山平成大学

●0-3 (17-25、15-25、23-25)

vs 東亜大学

●0-3 (23-25、17-25、15-25)

vs 島根大学

○3-0 (25-20、25-20、26-24)

vs 広島経済大学

○3-0 (25-21、25-21、28-26)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

※以下、戦評が長くなりました。ご了承ください。

秋季リーグ戦、最大の山場となった萩ラウンド4連戦、ここに照準を完璧に合わせてきたのが4年生の松本でした。これまでは人数が多い下級生に遠慮して、クールな一面が全面として捉えられてしまうことが多かったのですが、トス動作からのアタックやスパイクサーブで得点を量産し、喜びも全力で表現するアグレッシブな姿は、松本が本来持っているパワーであり才能で、とにかく楽しそうだったことが見ていて嬉しかったです。この萩ラウンドは、これまでの積み重ねが正直に結果として現れる舞台でしたので、松本には自信を持って最終週も楽しんで欲しいと思います。

広島経済大学戦では、3セット目は18-24 くらいだったと思いますが、そこから怒涛の連続得点で First stage に続く劇的なストレート勝ちを取めました。コート内の6人対6人だ

と、力差がなくどちらが勝ってもおかしくありませんが、両チームの決定的な差は、3回のメンバーチェンジをフルに使う広大が、実質9人対6人で戦っていたことだと思います。落合、保坂、そして1年生の和田が入るタイミングで訪れるブレイクチャンスが、相手にとっては重いプレッシャーとなっていました。

ピンチサーバーとしては、今回一気に和田がブレイクしましたが、彼が信頼を勝ち取ったのは、ブレイク後の2本目だったと思います。ブレイクすると気持ちが盛り上がるので、そのまま2本目のサーブを打つと、身体に力が入っていることに気付かず大抵アウトになりますが、和田は2本目も落ち着いて攻めることが出来ていました。落合や時永のように、ブレイク後もミスなく攻め続けられてこそピンチサーバーのポジションは確立しますので、3人の中に割って入る存在になってくるとチーム力はさらに上がることでしょう。

島根と経済にストレートで勝利したことで、東亜対平成戦の結果次第にはなりますが、2位の可能性が残りました。来週末の最終週に向けて、この10日間に取り組むべきことは何でしょうか。平成戦で稲葉がサーブで狙われ続けたから、稲葉のキャッチローテを回す練習が果たして正解なのでしょうか。稲葉のために全員で行う練習が、平成に勝つための、2位になるための練習になるのでしょうか。

宇治田のときもそうでしたが、チームになくてはならない選手と言うのは、交代どきを逸してしまうものです。この4試合を見て、広大のストロングポイントはレシーブ力だと感じました。樋口の成長が、保坂、水谷の成長を後押ししており、この3人がいれば、東亜、平成、そして全日本インカレで対戦するような相手でも、十分に戦える手応えを感じました。高橋を筆頭にセンター陣が強力なおかげで、コンビを組めば、保坂、水谷の両レフトで得点できることが分かり、メンタル面でもチームに欠かせない二人と比較すると、稲葉はもはや離れた3番目のレフトスパイカーと言わざるを得ません。

また、チームが一番苦しいときに、一番の努力を重ね、秋季リーグ戦のここまでの結果も牽引しているライトの村上ですが、村上はライトとしての役割をもう十分に果たしたと思います。夏の間は村上が6ローテいることが大事でしたが、他の選手が成長したことで、本来のセンターポジションでその経験を発揮するステージに到達したと思います。今年、このままライトポジションを続けても、負担や苦しさが増すばかりで、これでは村上本来の良さが消えかねません。ライトは北川か稲葉に任せ、一番苦しい時期に一番頑張ってきた村上には、自分が最も得意とするポジションで、最終週は伸び伸びと暴れまわって欲しいと思います。

個人的には、平成戦の2セット目の1点目、サーブが稲葉の前に落ちた時点で交代すべきだったと思いますが、前向きに捉えるならば、経済戦の最後まで当初のメンバーで戦い切った

ことは、データを残さなかった点で秘策だったと言えるでしょう。平成は監督が変わり、データを用いた緻密な作戦で攻めてくる分、この10日間で広大が全日本インカレ用にモデルチェンジできれば、本当に勝つチャンスがあると思います。これまで、現役生が勝てる勝てると言っても、正直絶対に勝てないと思ってきましたが、今回は初めて、勝つ可能性が出てきたと感じています。この10日間、弱点を克服するための練習は不要です。全日に向けてチームが一新されることを期待しています。

今週末は女子2部が行われます。

引き続きよろしく願いいたします。